図書館マーキュリー新聞

2024年 9月30日
復刊 第124号
若松商業高等学校

10月

「満月の次に美しい」
と考えられた十三夜。

今年は10月15日です。
『世界でいちばん素敵な月の教室』より

修学旅行企画展示

11/4～7は2学年の修学旅行です。
旅行先は関西方面です。
旅行が楽しくなる本や役立つ本を展示します。期間は、『10/7(月)～11/14(木)』です。
ぜひ、手にとってみて下さい。

はま・なか・あいづの 図書委員がオススメする本を読んでみよう！

昨年の展示の様子

今年で3年目の人気企画展示が下記の日程でおこないます。
相馬高校、須賀川桐陽高校、若松商業高校の図書委員が選んだオススメの本を紹介します。
読書の秋にぜひ読んでもらいたい名作ばかりです。
展示期間『10/28(月)～12/27(金)』

若商祭の準備に図書館を利用できるよ

→古新聞紙の提供などにも対応できます。（司書まで）

図書委員のオススメ

『坊っちゃん』

夏目漱石 著

この本は、主人公の"坊っちゃん"が教師になり、四国の学校に赴任をするまでの物語です。主人公は、立ち情と正義感の強い人間で、物作りの腕前も良く、てんぷらを食べたり、思い切って教頭を叩くなど、とても生き生きとした3年間を描いています。主人公の性格や、教頭を懲らしめるところなどは、とても感動させられます。

『おおかみこどもの雨と雪』

細田守 著

私がおすすめする本は、細田守監督の映画を小説化したものです。この物語は、主人公が人間の姿で暮らしている"おおかみおとこ"に恋をして、ふたりのこども"雨と雪"を授かり、家族の秘密を知られないように暮らしていく物語です。激しい姉弟げんかのシーンや、話の途中で正体がバレそうになったりと読んでいてハラハラしました。家族の大切さを感じられるとても良い作品です。ぜひ読んでみて下さい。

2年　図書委員

『蜜蜂と遠雷』

恩田陸 著

この本は著者である恩田陸さんの直木賞受賞作品で、私の好きな作品です。3年毎に開催される国際コンクールである芳々江国際コンクールに出るピアニストの物語です。主人公が数人いてそれぞれの視点からコンクールに対する思いを見ることが出来てもおもしろい作品になっています。

私はこの本を通して人の温かさや友情、出会いの大切さなどを学べました。ぜひ読んでみてください。

3年　図書委員